

**ジョリパット650シリーズ
すずらん仕上げ
施工の手引き**

平成12年7月作成

アイカ工業株式会社

化成品開発第二部

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー (モルタル下地の場合)	ジョリパットシーラー JS-410	塩化ゴム系 1液型溶剤透明シーラー	15kg石油缶	75~100㎡/缶
主 材	ジョリパット650シリーズ 標準色 JP-650 JP-650T (...数字) 特注色 JP-650 (...英字、 ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約 7㎡/缶

< 主な施工道具 >

- ・ リシンガン(口径 4~6mm)
- ・ マスチックローラー(ジョリパットローラーJR-20:9インチ)又は、
金ゴテ
- ・ すずらんローラー(ジョリパットローラーJR-53:9インチ)
- ・ ヘッドカットローラー(平面用:ジョリパットローラー JR-26)
(隅 用:ジョリパットローラー JR-27)
- ・ コンプレッサー(3馬力以上:1台使用の場合)

下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合。

< 下地調整 >

下地は、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)として下さい。

<すずらん仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地に最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	JP-650シリーズ	20kg
	清 水	3~4kg
塗布量	約1.0kg/m ²	
吹圧力	5~7kgf/cm ²	
使用ガン	リシンガン口径 4~6mm	

左官業者の場合は、ジョリパットを無希釈で
1.0kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布
する。(下ごすり)

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

・金ゴテにてジョリパットが約2kg/m²となるよう均一に配り塗りする。

追いかけ(5分以内)

4. パターン付け

- ・配り塗りしたジョリパットが乾燥しないうちに、すずらんローラーJR-53を横方向に転がし横パターンを付ける。(図-1)
- ・次に、上から下へローラーを転がし、縦パターンを付ける。
- ・塗り継ぎ部分は重ね合わさらないでパターンを付ける。(図-2)

<施工のポイント>

- ・力を入れず、すずらんローラーJR-53が回転するようにしてパターン付けする。
- ・すずらんローラーの溝にジョリパットがたまらないよう、常にきれいに保つ。溝にジョリパットがたまった場合は、ブラシなどで洗浄すると、再びきれいなパターンができる。
- ・パターン付けは最初にすずらんローラーを左から右へ転がし、次に縦方向へ真っ直ぐローラーを転がす。(図-1、)

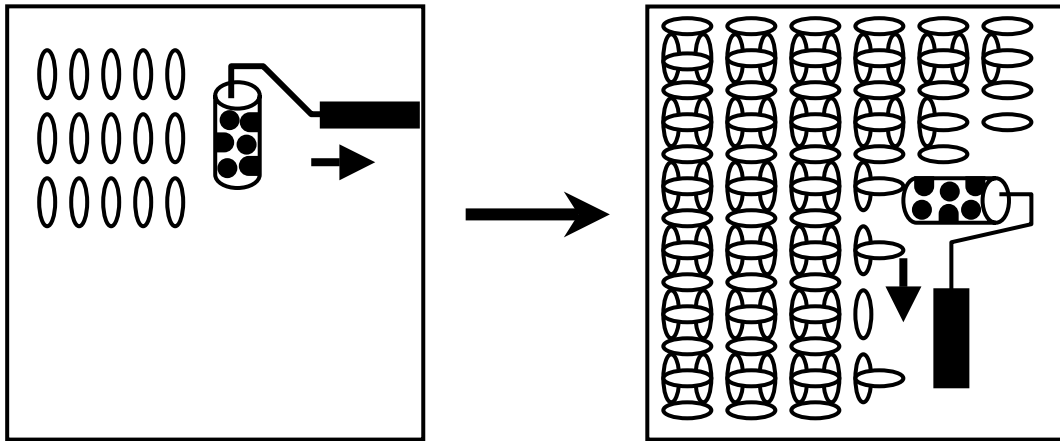
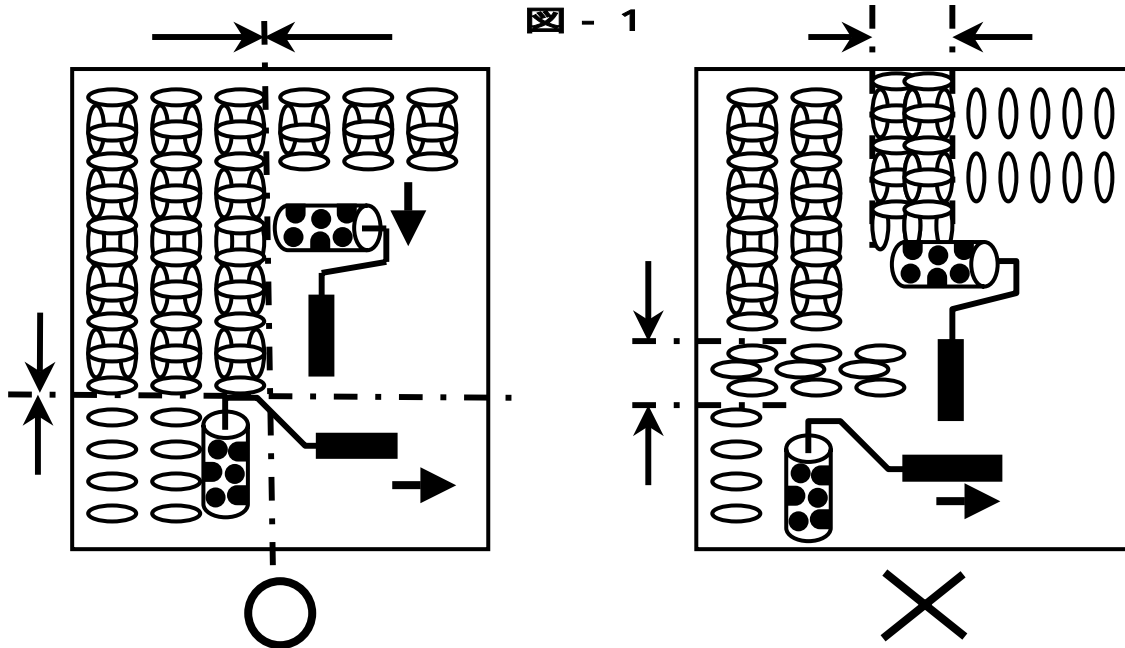


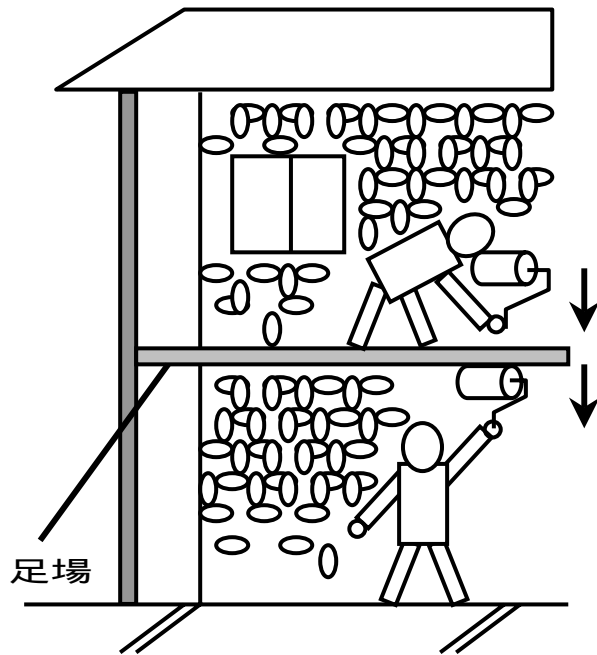
図 - 1



塗継ぎはローラーを重ねない。

図 - 2

< 施工の注意事項 >



足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、
足場の上と下で時間をあけないよう
2～3人で組んで施工して下さい。
ジョリパットの表面が乾燥して皮が
はる前にパターンをつないで下さい。
(皮ばり後にパターン付つなぎを行う
と、汚くなり継ぎが目立ちます。)

図 - 3

- ・ 大面積を施工する場合、ジョリパットの表面が皮ばりした後
にパターンをつなぐと模様つなぎが汚くなる為、化粧目地を
とるよう工夫する。(図 - 4)

(例)

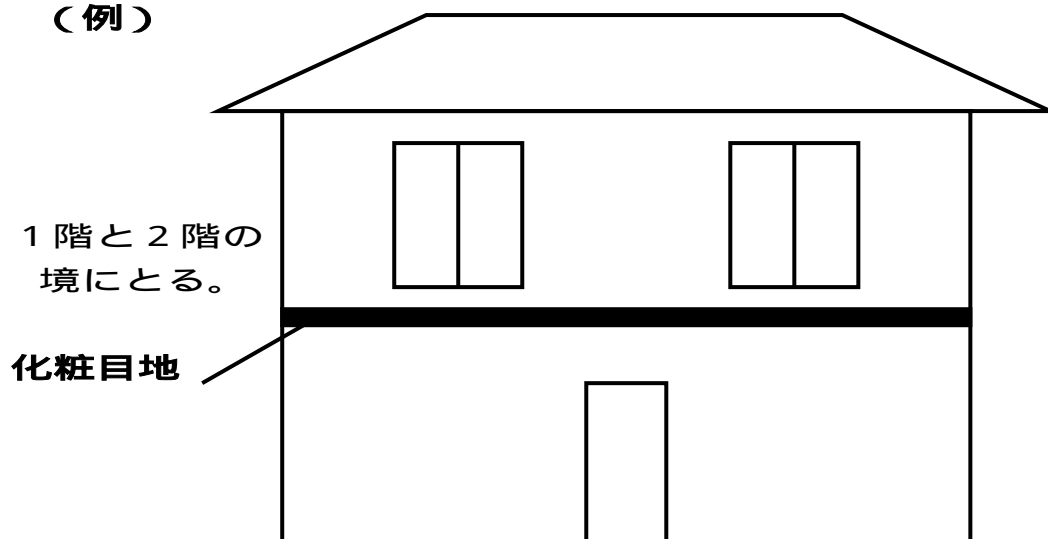
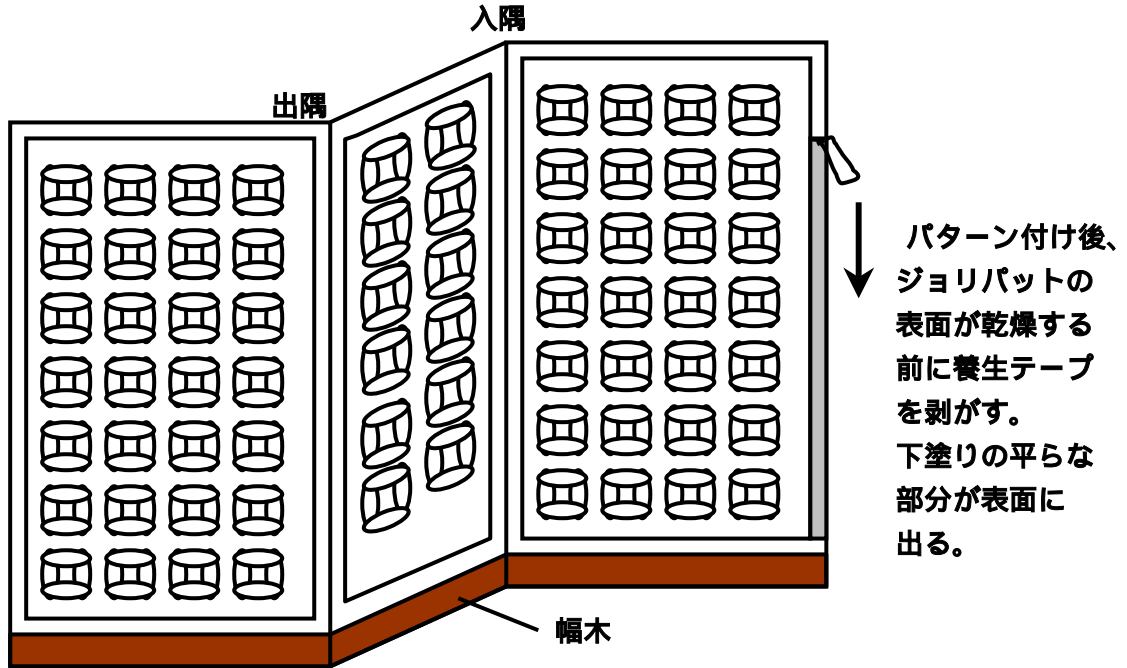


図 - 4

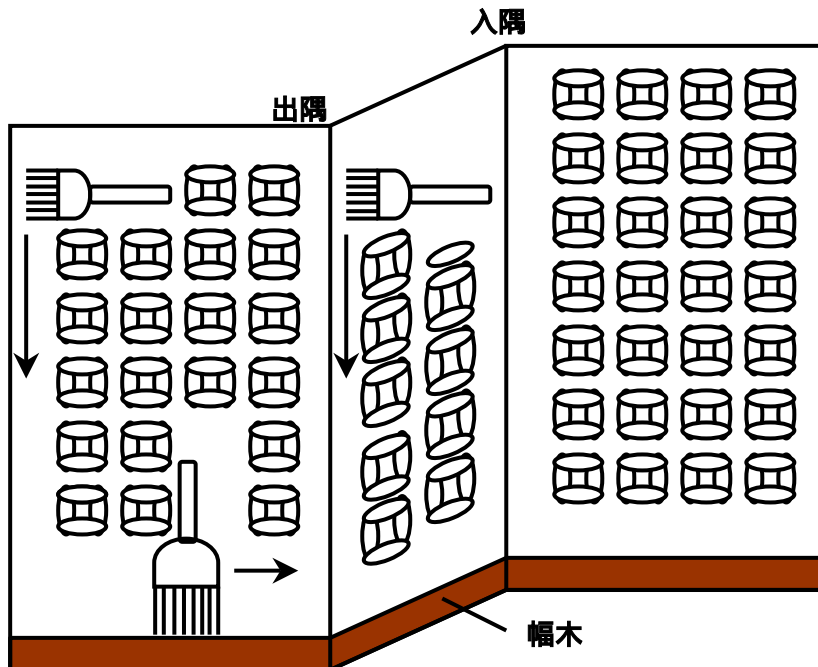
入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるかジョリパットが乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。
(図 5)



化粧目地をとる工法

ジョリパットを下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。



刷毛で押さえる工法

図 5

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)

**塗板見本は、すべてコテ配りで作成しています。
施工現場においてローラーで配る場合は、塗板見本と
仕上がりが若干異なりますので注意して下さい。**

以 上